

視察会報告**3/8 株式会社ギプロ・都築鋼産株式会社**

ギプロは平成15年12月に開業。解体系の石膏ボードを剥離して石膏と紙に分け、石膏はパウダー状にして石膏ボードの原料に、紙は製紙原料としてリサイクルしています。ラインを3つ持ち、不具合やメンテナンスでも止まらないようにしています。投入口を増やし20t/時の処理を行っています。石膏は8本あるサイロから空気圧送でジェットトラックに詰めて輸送しています。異物の混入、OYボード・カドミニウムボードの分別が課題です。異物は(株)タケエイに排出しています。施設では下の写真のように分別された石膏、紙、異物がわかりやすく示されました。



都築鋼産のRPF製造工場は平成15年6月市原グリーン電力に燃料を提供するために設立。廃プラ5：畳3：紙2の比率で混ぜながら破碎し、圧縮熱、摩擦熱(ヒーター130°使用)でプラが練られてRPFになります。一工程15~20分で完成します。受入も排出も月に1800tです。

**電子マニフェスト導入のための講習会報告****3/15**

既にお伝えしているように、建廃協では、来年度から2次マニフェストの電子化を推進することにしていきます。1次マニフェストでは、工事現場からの搬出時の使い勝手の良さから、ASP (Application Service Provider) のイーリバース社のシステムを採用していることが多いのですが、2次マニフェストではその必要がないことから、JWNET (国の指定する情報センター：電子マニフェストの唯一の実施機関) に直接アクセスして電子マニフェストを運用することになります。そのため、今回JWNETの竹内理事、野島氏の両氏を講師に迎え組合員11社23人が参加し講習を受けました。

最初に、竹内理事から、24年4月以降の料金の値下げが紹介された後、野島氏から2次マニフェスト交付にあたっての実務的な説明が行われました。概要は次の通りです。

1. JWNETへの登録は「報告+交付」の必要があること
2. 1次マニフェストとの紐付けの実施の有無を選択できること
3. 1次マニフェストとの紐付けを行う場合には、関係する電子マニフェスト番号を全て入力しなければならないが、1次マニフェストの最終処分終了には自動的に入力されること

4. 逆に、紐付けせずに「帳簿記載の通り」として単独で2次マニフェストを交付するときは、1次マニフェストの最終処分終了を全て入力しなければならないこと

これらの説明の後、質疑に入りました。現在電子マニフェストを導入している組合員、まだ検討中の組合員、様々でしたが2次処理先の電子マニフェスト化を実現するにあたっての実務的問題について活発に意見が交わされました。

ほとんどの会社は、1次、2次の紐付けを含めて、社内のコンピュータシステムで廃棄物管理をしています。このシステムに2次マニフェストの交付業務を連動させないと、それぞれ個別の入力が必要となり、業務の合理化どころかかえって過重になることが明らかになりました。この問題に組合がどのように後押しするかが課題となります。

組合営業マン懇親ボウリング大会報告

3/22

3月22日に組合営業マンボウリング大会が東京ドームボウリングセンターで行われました。参加者は約40人。10レーンに分かれての対決で、白熱したゲームが繰り広げられました。普段はなかなか交流を深める機会の無い



営業マンの方々ですが、同じレーンの仲間とともに協力してトップを目指していました。最初は硬い雰囲気も多少ありましたが、ゲームが進むにつれて、響く歓声、乱れ飛ぶハイタッチ、とても楽しい時間を共有できました。そんななか、私はというと、1ゲーム目では生涯最高成績のスコア120をたたき出しながらも終わってみれば合計200という不思議な結果でした。同じチームの皆さん、すいませんでした！！

ボウリングの後は、東京ドームホテル3F リラッサにて表彰式&懇親会でした。とてもとてもおいしい食事とおしゃれな雰囲気の中で、すっかり打ち解けた仲間でのお酒は格別なものでした。ボウリングの話や普段の仕事での話など、情報交換半分愚痴半分、有意義な時間を過ごせた懇親会でした！！また出席したいです！！

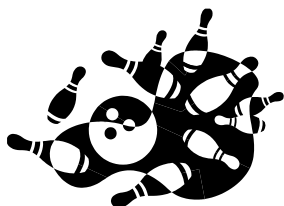
レポート 株式会社昇鋭 大串 正隆



個人優勝 上村さん(タケエイ)左



チーム優勝 左から貞方さん・岩井さん[光洲産業]&黒澤さん・上村さん[タケエイ]



お知らせ

・4月26日(木)基礎講習会 日本教育会館

開催のご案内をお送りしました。4月9日(月)までにFAXにて事務局まで申し込みください。

・5月11日(金)エコドライブ講習会 日野自動車

開催のご案内をお送りしました。定員15名です。4月6日(金)までにFAXにて事務局まで申し込みください。

※建廃協では、NEWSに載せてほしい事柄、また載りたい方も募集中です。どんなことでもかまいません。

感想などもぜひこちら→ jimukyoku@kenpaikyo.or.jp まで。